

サバ神社と湘南台地区

2023.6.20・23 伊沢 千代子 記

境川、和泉川沿いのサバ神社と新たなまちづくり湘南台地区の地名探訪が6月20、23日に行われました。梅雨時にも関わらず雨にも降られず絶好のウォーキング日和で20日31名、23日26名の方に参加いただきました。2回目にはタウンニュース社の記者が午前中のみ同行されました。

相鉄線ゆめが丘駅9時30分集合で、佐々木会長から今回の大まかな行程となぜサバ神社と湘南台を組み合わせたかの説明があり2班に分かれて出発しました。各班、音読みのサバ神社が漢字に直すと佐波、鯖、左馬、佐婆、佐馬と表記される謎、境川沿い東西3km、南北10kmの狭い範囲に集中している謎、境川沿いにある神社は源義朝を祭神とし、和泉川沿いに3社源満仲を祭神とするのはなぜか、境川、和泉川沿いにある地域的謎、御霊神社と併存しない謎などの説明がありました。

下飯田村にある1番目の左馬神社は、源義朝を祭神とし樹齢数百年の銀杏の木がある静寂な神社で、近くには馬頭観音の石碑などがありました。地下鉄いずみ中央駅を越え相模丘陵の崖下沿いを流れる和泉川沿いに歩を進め、途中四谷の湧水地で水分補給をしてから、源満仲を祭神とする和泉村の鯖神社に行きました。その後、鍋屋橋を渡り境川今田遊水地に出て、境川沿いにある湘南台地区今田にある鯖神社に参拝し、午前の部は終了。管理棟でランチタイムです。



徳本上人供養塔



左馬神社

午後は、平成13年に湘南台行政地区として誕生した新しい町であり、北部の中心地として発展した町の移り変わりを歩いて感じました。3、7丁目の石仏群は新しくできた住宅地の隙間に過去の遺跡が集められ、あまり人目につかない状態でひっそり残っていましたが、きれいに草むしりがされ、お地蔵様に手編みの赤い涎掛けが掛けられているのが印象的でした。円行村の中心神社であった八幡宮を参拝してから、円行公園に向かいました。ここでリサイクルプラザ藤沢へ行く班と徳本上人供養塔、亀井神社へショートカットする班に分かれました。リサイクルプラザ藤沢は、約半数の16人、10人が参加し、職員から熱心な説明を聞くことができ、環境問題への意識を新たにしました。蒸し暑くなった午後はさすがに脚がきつくなりましたが、途中見事に咲き誇っている紫陽花や白ユリの花たちになぐさめられ、無事

コースを完歩することができました。多くの方とサバ神社の謎やその他もろもろのお話しができ、大変有意義な2日間でした。(参加者57名)